

# 高校生ICT Conference 2021

In長野

～テーマ～

「フェイクを見極める」

## 開催報告書

2021年10月9日(土)12:30-17:00

【会場】：オンライン

主催

高校生ICTカンファレンス実行委員会

(構成団体) 長野県教育委員会

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省

2021年10月9日

## 目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference2021 地域開催.....	3
3. 高校生 ICT Conference 2021in 長野 開催概要.....	4
4. 主担当.....	9
4. 高校生 ICT Conference2021 サミット.....	9
5. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	9
6. 高校生 ICTConference の成果物と終了後の対応.....	9

## 1. 開催概要

名称：	高校生 ICT Conference 2021 テーマ： 「フェイクを見極める」
主催：	長野県教育委員会 高校生 I C Tカンファレンス実行委員会 (構成団体) ● 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、警察庁、消費者庁、総務省、法務省、文部科学省、経済産業省
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構
協賛：	グーグル合同会社、株式会社ラック、株式会社サイバーエージェント、株式会社メディア開発総研、株式会社ディー・エヌ・エー、Bytedance 株式会社、Twitter Japan 株式会社、グリー株式会社、アルプス システム インテグレーション株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会
協力：	WeWork Japan 合同会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&amp;活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加、その後順次規模を拡大し、2020 年度には、全国 15 拠点にて開催し、計 86 校 360 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p><b>【本年開催テーマのコンセプト】</b> ネットの無い世界は考えられなくなっている反面、ネット上には真偽を問わず情報が溢れています。災害など非常時に人の善意に付け込んだフェイク情報は、愉快犯に留まらず、恐怖心をあおり、例えば買い占めを誘引したり、人格を変質させ根拠の無いいじめにつながったりしています。</p> <p>さらに、最近では、フェイクの域を超え、実在の企業になりすました巧妙な、なりすましメールや偽の HP への誘導による犯罪も常態化しています。</p> <p>2022 年に施行される成年年齢引下げに向けて高校生の早い時期からネットの特性を理解したうえで、フェイクを見極め、事故や犯罪に巻き込まれることなく、ICT を活用するにはどうすれば良いのかを、利用実態を踏まえ、議論する。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導</p>

	要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取り組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
各開催地 募集人員等：	募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）
参加参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長）</li> </ul> <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長）</li> <li>猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所）</li> <li>植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事）</li> <li>小城 英子（聖心女子大学）</li> <li>他、関係者団体、事業者等</li> </ul> <p>【事務局】</p> <p>安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL：03-3562-8850 FAX：03-3562-1180</p>

## 2. 高校生 ICT Conference2021 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

開催地	開催日時	会場
北海道	9 月 12 日	オンライン
茨城	10 月 22 日	オンライン
東京	10 月 2 日	オンライン
神奈川	9 月 4 日	オンライン
新潟	8 月 19 日	オンライン
石川	10 月 3 日	オンライン
長野	10 月 9 日	オンライン
静岡	9 月 19 日	オンライン
大阪	9 月 12 日	オンライン
奈良	10 月 3 日	オンライン
高知	8 月 19 日	オーテピア
佐賀	10 月 23 日	オンライン

長崎	8月21日	オンライン
大分	8月22日	オンライン
全国オンライン	10月10日	オンライン
サミット	11月3日	Wework Japan 京橋スクエアガーデン
最終報告会	未定	

### 3. 高校生 ICT Conference 2021in 長野 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 42 名の参加者を得て、Zoom を使ったオンライン形式で、「フェイクを見極める」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p><b>【熟議】</b> 司会進行・主旨説明</p> <p><b>開会の挨拶</b> 長野県教育委員会事務局心の支援課長 滝澤 崇 様 長野大会は 7 回目になる。「フェイクを見極める」というテーマで熟議が行われるが、今日話したことを活かして、周りの高校生や社会にも良い影響を及ぼしてほしい。</p> <p><b>来賓あいさつ</b> 総務省信越総合通信局情報通信部電気通信事業課課長 太田 伸一 様 ネットの世界にはフェイクがあふれている。今までに様々なフェイク情報があり、傷ついた人や苦しんだ人も出ている。最近では新型コロナウィルス感染症に関係するフェイクが多い。情報に接したとき、鵜呑みにするのではなく、発信源などを確かめなければならない。</p> <p><b>事業者講演</b> ByteDance 金子陽子 様 フェイクニュースは 2016 年頃、米大統領選から世間で話題に上がるようになった。場合によってはそれが報道でも扱われ、大きな問題になることもある。それが事実なのか確かめる手段を持つ必要がある。</p> <p><b>第 1 部： 熟議「フェイクを見極める」</b> ①参加校が事前に準備してきたプレゼンテーションを発表 ②グループごとに熟議 (3 グループ) 長野県内の大学生をファシリテーターとし、参加高校生が部グループに分かれて熟議を行った。 ・自己紹介 ・アイスブレイク ・テーマに対する熟議</p> <p><b>第 2 部： 学校ごとに熟議で得たことを共有し、提言をまとめる</b> 各グループともプレゼンテーションソフトを活用して 3 分程度の発表を行いました。(詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください)</p> <p>その後、参加生徒により、11 月 3 日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、松本工業高等学校が代表校に選出され、発表されました。</p> <p><b>講評</b> 最後に矢澤 智都枝 (子どもとメディア信州) 様から本日の講評をいただきました。</p>
----	---

参加校：	松本工業高等学校 松川高等学校 明科高等学校 松本美須ヶヶ丘高等学校  (順不同)
日時：	2021年10月9日(土) 12:30-17:00
場所：	オンライン
参加人数：	熟議参加生徒 20人 見学者・関係者 22人(教員・教育関係者・その他) 合計： 42人
熟議グループと熟議の様子	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【グループ名：1】7名          [ファシリテーター] 野々山 温(県警学生ボランティア)          (補助) 井原成経(岡谷工業高校教諭)</p> <p>1. 熟議の内容          グループ1では熟議のポイントを 1.なぜフェイクが生まれるのか、2.フェイクとネットの親和性、3.騙されないためには、4.有用なものを見逃さないために、5.安心して活用できるネット社会への5つに分けそれぞれ検討していった。</p> <p>2. なぜフェイクが生まれるのか          まず、なぜフェイクが生まれるのかという点に関して、多くの高校が利益を発生させるため、そして自己顕示欲を満たすための大きく2つの理由を考えていた。特に二つ目の自己顕示欲を満たすためという理由に関しては、「人を困らせて快感を得たい」、「面白半分」や「正義感による善意の交錯」など具体的な意見が多くみられた。          また、この2つの理由に関連して身の回りのフェイクはどちらの傾向が強いのか考えたところ、自己顕示欲を満たすためのフェイクが多いという意見が多く、スマートフォンやパソコンなどの電子機器が身近になり個人がフェイクニュースを発信しやすくなったためではないかとの指摘があった。</p> <p>3. フェイクとネットの親和性について          次にフェイクとネットの親和性について検討した。その結果、「現代社会での心理戦にフェイクが向いているから」や「身の回りの情報が依然と比較して多くなったから」などの意見が出たが最も多かった意見は「フェイクを作成する技術の一般化」と「若い世代のネット利用の増加」であった。この結果からやはり前項で述べたようにスマートフォンやパソコンなどの電子機器の一般化がフェイクの拡散に大きな影響を与えていることがわかり、改めてフェイクとネットの親和性の高さが伺えるような内容となった。</p> <p>4. 騙されないためには          次に、実際に騙されないためにどのような対策が必要か考えた。特にグループ1は騙されないための対策を心構えと具体案の二つに分けて考えていった。          まず、心構えに関しては、「一つの情報を鵜呑みにしない」や「疑う心をもっておく」、「自分に対して有益な情報を信用しない」など各高校で同じような意見が出た。よって高校生としてはそもそもネットの情報を信用しないという考えが強いように思える。          また、具体案としては、「迷惑メール場合メールアドレスを検索する」、「親や先生に相談する」、「国に認証機関が欲しい」といった意見が出た。ただ、親や先生に相談するという意見に関しては学校にそういったことを相談できる先生がいるかどうかアンケートをとったところ約半数の生徒がそういった先生が</p>

いないとの回答だったので、今後学校としても相談先を設けるなどもっと具体的な対策が必要であると感じた。

さらに、ファクトチェックのサイトを今後利用するかについてもアンケートを取ったところこれに関しても約半数の生徒が利用しないとの回答だった。その理由としてはそういったサイトがあることをそもそも知らないということがあげられ、今後行政としてそのようなサイトを開設したり、発信していく必要があると感じた。

5. 有用なものを見逃さないために

次に有用なものを見逃さないためにそうすべきかを考えた。これに関しては時間の関係もあり多くの意見を聞くことができなかったがやはり騙されないための対策と同じように「親や先生に相談する」や「ネット以外の情報源をもつ」「一つの情報を鵜呑みにしない」などの意見が出た。

6. 安心して活用できるネット社会へ

そして、最後に安心して活用できるネット社会を作るためにどうしていくべきかを各学校ごとにまとめてもらった。具体的には「フェイクに騙されないために日ごろから正しい情報を得ていく、意識していく」、「情報の免疫力をつけていく」、「自分で考えつつ、完全に信用しない。あくまで参考意見として自分に取り入れていく」、「ネットに対して考えていく機会を増やしていく」という4つの意見がでた。特に免疫力という言葉は高校生が考えたとは思えないほどの的を射ている言葉であり、自分自身も今後情報にふれる上で大事にしていきたい言葉である。

【グループ名：2】6名

【ファシリテーター】久保田 大翔（県警学生ボランティア）  
（補助）細谷冴理（豊科高校教諭）

問1 なぜフェイクは生まれるのか

- ・目立ちたいから
- ・目が向けられてうれしい
- ・注目されたい
- ・達成感を感じたい
- ・達成感を感じる
- ・詐欺メールで金銭目的
- ・相手のことが羨ましく陥りたい
- ・承認欲求
- ・認められたい

問2 フェイクとネットの親和性

- ・困ったらネットにすぐ頼る
- ・暮らしと密接だから
- ・即共有できる（嘘の真偽を確かめられない）
- ・使いやすい
- ・匿名だから言いやすい
- ・発信しやすい

問3 騙されない為にどうすれば良いか

- ・フェイク系には文章がおかしいものが多い→自分が変だなと思った直感を大切に  
する
- ・文章表現やいつ書かれたものなのか確認する
- ・一度怪しいと思ったら立ち止まって最初から疑ってかかる
- ・授業等で習い、フェイクに関する知識を蓄える
- ・すぐ乗らない、流行に乗らない
- ・周りの人（親や親族、先生といった大人）に聞く。間違った情報をネットで調べても間違った情報が出るかもしれないから
- ・自分の世界だけで解決しない
- ・ネットから離れて考える
- ・視野を広げて考える

問4 有用なものを見逃さない為に

- ・公式サイト、公式アカウントを調べる
- ・文章だけでは信用できないので、動画、写真等を確認する。

- ・ただ書かれたものではなく、顔や誰が書いてあるもの選択したり、確認する。
- ・日時等を確認して最新のものを取り入れる。どこがなぜ変わったのか、どういう風に変ったのか調べる。

#### 問5 安心して活用できるネット社会へ

- ・自分でまず考える。立ち止まって考える
- ・どうして発信したのか等を考えられる力を身につける
- ・一つだけの情報を鵜呑みにするのではなく、複数の情報を調べてその中から選択する。
- ・発信する側が変わることが大切。
- ・国や企業が信じていい情報かどうかを認証してくれるようなサイトが増えるといい
- ・通報する機能をつけて私たちからも教えてあげる。

#### 松川高校

苦労：調べるのが大変で似たものがあったらまとめるのが大変だった

良くできた：みんな意見をいってくれてまとめやすかった

工夫：みんなが見やすいように箇条書きにした。フェイク側の視野にたった

#### 美須ヶ丘高校

苦労：アンケートを取ったが予想したものとは異なり、新しく考えるのが大変だった

良くできた：しっかりまとめることができた

工夫：しゃべる速度や見やすさ

#### 明科高校

苦労：愛知県警を攻めるだけでなく、思いにたったところ

工夫：見やすいようにつくった

#### 松本工業高校

苦労：行き着く考えが同じで考えが広がらなかった

工夫：工業高校だからできたことを取り入れることができた

#### 反省

- ・二人で参加している学校や一人でもハキハキしている子は積極的だったが、一人で参加している子も言うてはくれるが少し一歩さがった印象だった。やはり、二人だと相談できたりするが一人だとどうしても緊張してしまい、言いつらかったのでは
- ・誰かが意見を言った時の反応。大きくうなずくや、相づちをうつといったリアクションがもっとあれば良かった

【グループ名：3】7名

〔ファシリテーター〕柳沢 奈々子（県警学生ボランティア）

（補助）高橋三智枝（長野西高校中条校養護教諭）

塩本真崇（上田東高校教諭）

#### 1 自己紹介

積み木自己紹介をおこなった。ニックネームでの自己紹介だったが、ニックネームを考えられなかった等の理由からフルネームで自己紹介をする高校生メンバーが2人いた。ニックネームは少しハードルが高いようにも感じた。



## 2 アイスブレイク

たけのこによっきというアクティビティを行い、アウトになった高校生には、罰ゲームとして「好きなアーティスト」と聞いた。マニャックなアーティストの名前が出てきて少し盛り上がった。指運動では、和やかな雰囲気づくりを行うことができた。

## 3 プレゼンテーション感想共有

プレゼンテーション感想共有においては、プレゼン作成時に困ったことや、メンバーとの意見交換の難しさ、そもそもフェイクという題材が難しかったという声が多く出た。また、プレゼンテーションで事例を交えることで分かりやすく発表できた、同じ事例を用いたプレゼンがあったなど、他校のプレゼンテーションを聞いて学んだことも多くあったように感じる。

## 4 フェイクについての熟議

身近にあったフェイクの事例をあげ、フェイクに騙された理由や騙されないための対処法を考えていった。身近にあったフェイクとして多かったものは、動物園のライオンが逃げ出した・インスタのストーリーで DM を送ればお金がもらえるなど SNS を使っている際に目にするものが多いように感じた。

### 【騙される理由としてあがったもの】

- ・知らない情報・新情報は信じやすい
- ・自分においしい話がある飛びつきたくなってしまふ
- ・SNS のような日常使いする媒体において情報を収集すると、真剣に考える時間があまりなく簡単に判断し信じてしまふ
- ・日常生活に支障がでそうなこと(事例：トイレトペーパー事件)については簡単に信じといった多くの意見がでた。

### 【騙されないためには】

- ・多くの情報を取り入れ、様々なプラットフォームや情報の比較を行う
- ・情報が多くの人に知れ渡っているからといって信用しない
- ・信頼している家族や友人と情報についての真偽を考える

騙されないために、多くのメンバーが情報をたくさん得ることが大事という意見を出していた。そこで、私は昔にあった例：松本サリン事件の誤報道 河野さんのことについて話をし、公的な報道機関においても 100%信用することの怖さや、多くの人が信頼している機関の情報においても疑いの目は常に持つておくことの重要性を示した。

最後に「ネットを活用するには」をまとめとしてメンバーに聞いた。

### 【ネットを活用するには】

- ・不安要素の改善には、情報を見極め、自分で考えることが大事
- ・ネットフェイクを完全になくすことは不可能であるが、SNS サービス提供社は通報など機能を付けることが大事
- ・情報リテラシーの授業を強化する
- ・自分の考えを軸において、冷静になってパニックにならずネットを使う
- ・自分の考えでも思い込みだけでなく、いろんな人に聞き相談できることは相談する

フェイクを見極めること・ネットをうまく活用することは親和性がある。特に、ネットを活用する際にみる情報の真偽を確かめなければならない場面が多くあるからである。物事には必ず裏と表が存在し、現在の世の中は、一つの情報が孤立して存在している世界ではない。裏を変えれば、多くの情報・現象が一つの物事・多くの物事に対しつながっているのが現代であるといえる。だからこそ、フェイクを見極めるためには様々な視点から見た多くの情報が必要であること、得た情報や報道を個々独立して考えるのではなく、つながっているかもしれないという考えを持ちながら、生活していったほしい。

#### 4. 主担当

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会	事務局
長野県教育委員会	運営

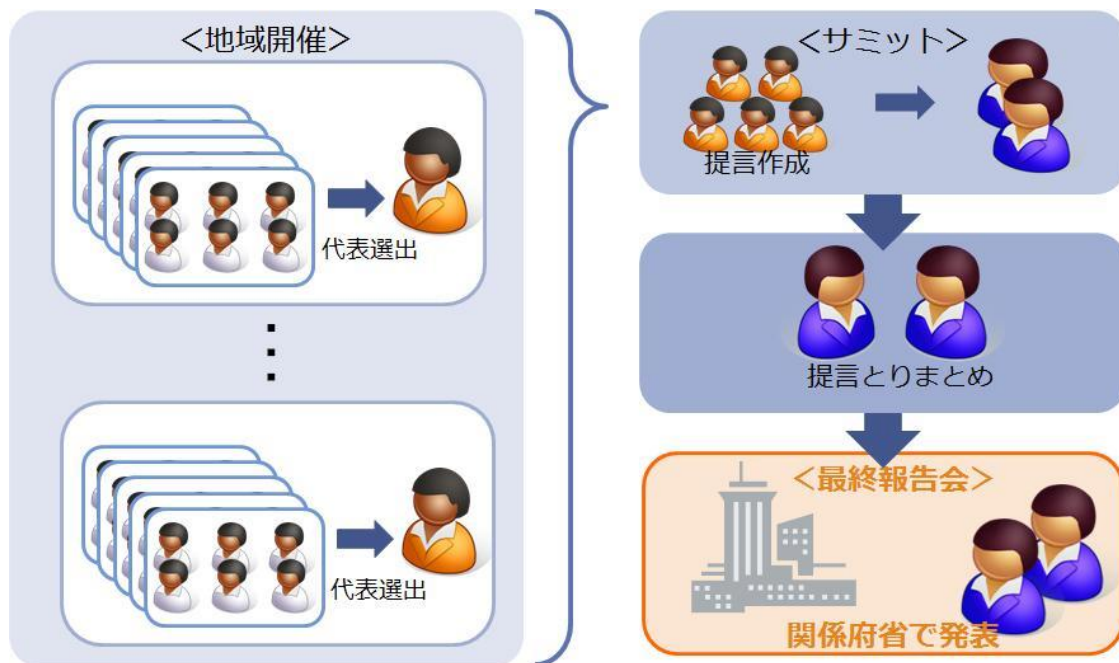
#### 4. 高校生 ICT Conference2021 サミット

高校生 ICT Conference2021 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

#### 5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference2021 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。



#### 6. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存 (Googlejamboard に保存)
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference2021 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference2021 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上